

～TANKYU～

谷地南部小学校
校内研究だより
2023. 2. 1
No.55 文責 伊藤

個別最適な学びとは①

今、職員図書で購入していただいた「個別最適な学びを実現するICTの使い方」（蓑手章吾著）を読み進めています。今年度、ICT研修の担当として、何となくやったつもりで過ごしてきたのですが、最近の3年生を見ていると、「使ってはいるけれど効果的なのか？」という疑問が湧いてきました。疑問が湧くというのは、私が1年間ICT活用に挑戦し続けてきた賜物なので、それ自体が悪いことではないと思うのですが、これからますます効果的に取り入れていくうえで、もう一度初歩から見つめ直してみようと思い、この本を手にとってみたわけです。

まずは、「ICTとは何なのか」から確認していきたいと思います。本来ICT機器とは、テレビやCDプレーヤー等を含めた幅広いものなのですが、今回はGIGAスクール構想の一つとして導入された「一人一台タブレット端末」のことを指してお話したいと思います。

<ICT端末でできる6つのこと>

- ①文章アプリで簡単に編集ができる。（wordなど）
- ②カメラアプリで写真が撮れる。
- ③ビデオアプリで動画が撮れる。
- ④インターネットに接続して情報を検索できる。
- ⑤動画閲覧アプリで動画が見られる。（YoutubeやNHK for schoolなど）
- ⑥ポートフォリオで作品の保管ができる。（ロイロノートなど）

通常「インカメラ」と「アウトカメラ」がついていて、一般的には、「アウトカメラ」の方が画質は良い。

<ICTツールの類型>

種類	メリット	代表的なもの（本校の場合）
双方向型	双方向でやり取りができる。 （子どもと教師、子ども同士）	ロイロノート Teams
テレビ会議型	リアルタイムで情報共有できる。顔が見える。	Teams Zoom
ドリル型	学年に縛られず、大量の問題がある。	漢字ドリル、計算ドリル e-ライブラリ